

遊水地 コメ試験栽培

矢吹に「ほ場」

国土交通省は本年度、東日本台風を受けた岡山県の災害沿岸対策として、石炭石灰吹き止工事の3町村で実施する治水地の計画で、岡山市内では、岡山駅周辺で改修工事を実施する。試験地は全国初めてとなる。早ければ大型船明けかごの吹田の海岸で実験を始める方針で、数ヵ月で運営や水質の変化に収容や品質に今後の影響などを調べて本格的な治水の可能性を探る。



Q 道水地 川からあふれた水を一時的にたぬて川の水位を下げ、流域の水災害を軽減する施設。礎石、矢吹、川の3町村では2019年の東日本台風で阿武隈川流域に甚大な被害が出了ため、国土交通省が整備を決めた。約350㌶を3区画に分けて整備。国交省は道水地の完成後、農業はか多目的の施設やサイクリングロードなどを計画している。

遊水地で試験栽培開始 矢吹

A black and white photograph showing a man in a light-colored vest and cap operating a white rice transplanter. He is seated in the machine, which is positioned in a flooded rice paddy. The background shows a line of trees and some buildings in the distance.

て収穫量や品質に与える影響などを調べるほか、仁井田さんが耕作するほかの水田ともデータを比べる。仁井田さんはこの日、水が張られた約21haの田んぼ2枚にコシヒカリの苗を植

農を判断してもらうための情報を集めたい」とし、「井田さんは「土壤は軟らかいが水持ちが良く、栽培は大丈夫だと思う。関係機関と情報を共有しつつ生育を確かめたい」と語った。

始開局 矢吹

福島民友新聞
令和7年5月16日